

上尾市水道事業では、事故や災害への対応に重点を置いた「実動班」を令和2年3月に編成し、さまざまな状況に即した訓練を実施しています。

「実動班」の講習や訓練を継続することで、事故や災害が発生した際に迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回は、令和8年2・3月に行った訓練内容について報告します。

## 給水車(重力)操作による「応急給水」訓練

令和8年2月5日(木)に、給水車を活用した応急給水訓練を実施しました。

具体的には、水源から補給した飲用水を避難所等に運搬し、飲用水を非常用給水袋などに給水する作業です。給水車による給水活動を迅速に行い、市民の皆さんの元へ速やかに飲用水をお届けするための訓練となります。



水源から給水車へ飲用水の補給



給水車に蛇口を増設し、非常用給水袋に注水

## 給水車(圧送)操作による「応急給水」訓練

令和8年2月12日(木)・26日(木)に、給水車を活用した応急給水訓練を実施しました。

具体的には、水源から補給した飲用水を避難所等に運搬し、設置されている給水タンクへ圧送する作業です。給水車による給水活動を迅速に行い、市民の皆さんの元へ速やかに飲用水をお届けするための訓練となります。



給水車への補給前にホースを洗浄



水源から給水車へ飲用水を補給



狭い場所への駐車



給水車から避難所の給水タンクへ圧送

## 漏水修繕「サドル付き分水栓」

令和8年2月19日(木)に、漏水修繕(サドル付き分水栓)を実施しました。市内で漏水事故が発生したという想定の下、漏水により水が噴出している水道管に、サドル付き分水栓を用いて漏水修繕する訓練です。漏水による道路陥没などの二次被害を防止する際に、有効な手段となります。

今回は、水道管が道路下に埋設されている状況を再現するため、木製の囲いを設けて狭い地中での作業を想定するとともに、囲いの中にビニールシートを敷き、入口を土嚢で塞ぎ、漏水した水が溜まる環境を作り、より実際の場に近い状況で訓練を実施しました。



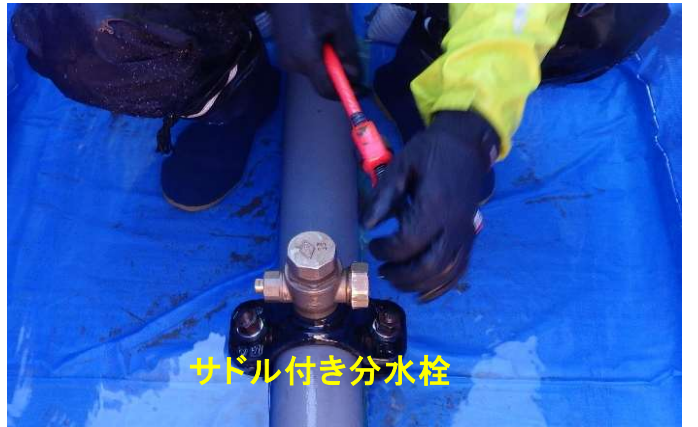
狭い地中に見立てた木枠の中での訓練



バール等を用いてサドル分水栓を漏水箇所に移動



漏水が溜まり徐々に水かさが増す



修繕完了

## 応急漏水修繕「木栓」

令和8年3月5日(木)に、応急漏水修繕(木栓)を実施しました。孔があいて漏水している水道管に木栓を直接打ち込み、応急的に止水する作業訓練です。災害や事故時など、急を要する場合に有効な手段となります。

今回の受講者は、初めての木栓作りとなったため、経験者がマンツーマンで教えながら木材の削り出しを行いました。



角材を削り出し、木栓に加工



## HIVP管接合

令和8年3月12日(木)に、実施しました。事故や災害等応急給水や給水の復旧で使用が想定されるHIVP管の接合が発生した際、給水装置工事事業者等への的確な指示を行うため、また緊急時には、自ら応急給水を行うための接合訓練です。

具体的には、HIVP管を所定の長さに切断、接着剤を塗布し、ソケットと接着します。今回の受講者は、初めてのHIVP管接合となったため、まっすぐに管を切断することや、接着剤を均一に塗布することに苦戦していました。



手順及び注意点の説明



HIVP管を課題の長さに切断



HIVP管とソケットに接着剤を塗布



体重をかけて、HIVP管とソケットを接合

## 管洗浄(座学) 指揮能力養成課程

令和8年3月19日(木)に、総合指揮監督を目標とする実動班員を対象とした管洗浄(座学)を実施しました。

本講習は、災害時に総合指揮監督がとれる人材育成を目的とした、より高度な講習内容となっています。今回は、通行者より舗装の割れ目から水が多量に出ているとの通報を受けた場合を想定し、設定された条件下でどう対応するべきかを、制限時間30分で検討しました。



## 「管洗浄1級」認定式

上尾市上下水道部では、訓練成果の見える化の一環として、独自に定めた認定試験を実動班員の練度に応じて実施しています。

「管洗浄1級」は、緊急時に市内の配水管で広範囲の濁水が発生した場合、さまざまな状況を考慮した上で指揮を執り、管洗浄を実施して事態を収束させることができる能力を有することが条件となります。

今年度4名を認定し、令和8年3月23日(月)に認定式を実施しました。次年度以降も、認定者を増やせるよう実動班の活動の充実を図ってまいります。



## 実動班の主な目的

- ◆ 事故や災害発生時における初動対応力の向上
- ◆ 事態収拾に向け迅速に対応できる職員の育成
- ◆ 応急給水や漏水修繕など現場対応力の向上
- ◆ 習得した専門知識や特殊技術の継承と波及

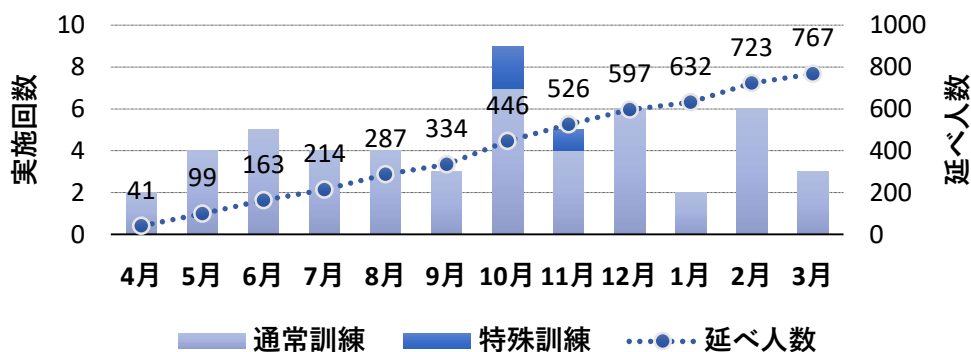
● 令和8年3月現在 編成人員  
上尾市上下水道部（合計35人）

・ 水道技術管理者	1名
・ 水道技術顧問	1名
・ 経営総務課	4名
・ 業務課	7名
・ 水道施設課	21名

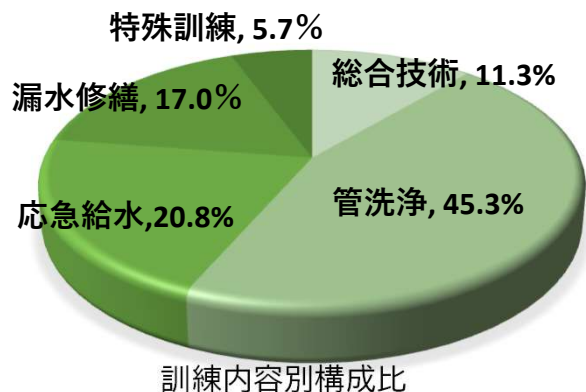
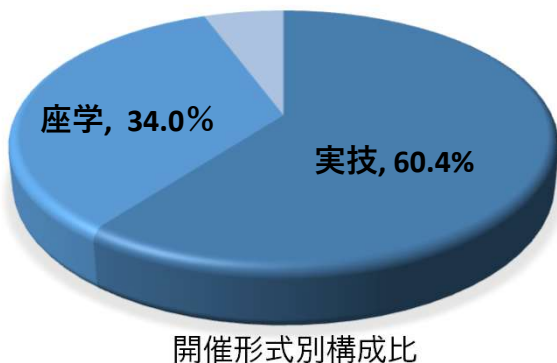
「実動班」では、日常訓練により培われた技術が、来る大規模災害への対応に繋がると確信し、各種の講習会や実技訓練を積み重ねております。また、これらの訓練を継続することで、迅速な災害対応ができる職員の育成と水道技術の継承ができるものと考えます。

## 令和7年度 活動概要

年間を通じて、通常訓練を50回、近隣水道事業体（上尾市上下水道部を含む4市町3事業体）との合同訓練を1回、総合訓練1回、総合訓練総括1回、合計53回の訓練を実施いたしました。なお、各回平均14名、延べ767名の職員（外部参加者7名、実動班以外の水道職員3名を含む）が訓練に参加いたしました。



具体的な各訓練の構成比は、下図のとおり、実践訓練としての[実技]を全32回（60.4%）、理論講習を中心とした「座学」を全18回（34%）開催しております。実動班では、座学で習得した知識や理論を、現場で実践する形式を重要と捉えております。また、今年内容については、多種多様な漏水への対応力を強化するため「管洗浄」により多く配分して訓練を実施いたしました。 **特殊訓練, 5.7%**



「総合技術」> 水道事業、全般等  
 「応急給水」> 給水設備の応急構築等  
 「特殊訓練」> 総合訓練、合同訓練、認定試験

「管洗浄」> 水道管内の水質改善等  
 「漏水修繕」> 破損管路の応急止水等